

学校コード F128310108954

設置年度 令和 元年度
計画の区分： 学部の設置

届出

関西国際大学 経営学部 経営学科

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人濱名山手学院
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学長室

職名・氏名 タントカチョウ 担当課長・ イシカヒロアキ 石川裕章

電話番号 0794-84-3500

（夜間） 0794-84-3500

e-mail pres-sec@kuins.ac.jp

目次

経営学部

＜経営学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	22
6. 附帯事項等に対する履行状況等	41
7. その他全般的事項	42

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人濱名山手学院

(2) 大学名

関西国際大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒673-0521

兵庫県三木市志染町青山1丁目18番

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハマナ アツシ) 濱名 篤 (平成18年6月)		
学長	(ハマナ アツシ) 濱名 篤 (平成17年4月)		
学部長	(ヤマシタ ヤスオ) 山下 泰生 (平成31年4月)	(ウエムラ カズミ) 上村 和美 (令和3年4月)	山下副学長が副学長業務に専任するため(元)
学科長等		(ウキタ イズミ) 浮田 泉 (平成31年4月)	学科運営強化のため任用(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (2)

令和4年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
 ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経営学部 経営学科 学士(経営学)	経済学関係	4年	100人	3年次 20人	440人		令和3年4月収容定員740人に変更

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	人 () []	100 (20) [-]	人 () []	100 (20) [-]	人 () []	175 (20) [-]	人 () []	175 (20) [-]	人 () []	1.11倍	倍	
志願者数	() []	() []	437 (-) [46]	- (-) [-]	550 (-) [38]	- (-) [-]	628 (15) [101]	(7) [7]	408 (8) [53]	() []			
受験者数	() []	() []	408 (-) [43]	- (-) [-]	509 (-) [34]	- (-) [-]	574 (12) [90]	(7) [7]	364 (8) [49]	() []			
合格者数	() []	() []	152 (0) [19]	- (-) [-]	154 (-) [10]	- (-) [-]	405 (5) [32]	(5) [5]	322 (8) [40]	() []			
B 入学者数	() []	() []	113 (0) [16]	- (-) [-]	109 (-) [10]	- (-) [-]	197 (4) [27]	(4) [4]	196 (8) [36]	() []			
入学定員超過率 B/A			1.13			1.09			1.13				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年			令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[]	[]	113 [16] (-)	- [-] (-)	109 [10] (-)	- [-] (-)	197 [25] (-)	- [-] (-)	196 [31] (-)	- [-] (-)	令和3年度春季入学(3)は編入学
2年次	[]	[]	/		108 [16] (-)	- [-] (-)	104 [10] (-)	- [-] (-)	184 [23] (-)	- [-] (-)	
3年次	[]	[]	/		/		107 [19] (-)	4 [4] (-)	108 [17] (-)	- [-] (-)	
4年次	[]	[]	/		/		/		103 [19] (-)	4 [4] (-)	
計	[]	[]	113 [16] (-)	- [-] (-)	217 [26] (-)	- [-] (-)	412 [54] (-)	- [-] (-)	595 [94] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	113 人	5 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	5 人	0 人	修学意欲の低下1、進路変更(他教育機関)2、進路変更(就職)2
令和2年度	217 人	8 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	4 人	0 人	修学意欲の低下4
			令和2年度	4 人	0 人	修学意欲の低下2、進路変更(他教育機関)2
令和3年度	408 人	21 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	4 人	0 人	修学意欲の低下3、進路変更1
			令和2年度	4 人	0 人	修学意欲の低下1、進路変更(就職)1、心身に関する事情1、経済的困窮1
			令和3年度	13 人	2 人	修学意欲の低下4、進路変更(他教育機関)4、海外留学1、経済的困窮2、[経済的困窮1、進路変更(就職)1]
令和4年度	595 人	0 人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
合計		34 人		34 人	2 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!} \%$$

数式が入力されています。

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{113} = 4.42 \%$$

数式が入力されています。

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{217} = 3.68 \%$$

数式が入力されています。

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{21}{408} = 5.14 \%$$

数式が入力されています。

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{595} = 0 \%$$

数式が入力されています。

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

	インターンシップ I	2夏	2	3	1																
	インターンシップ II	3夏	4	3	1																
	小計(40科目)	-	0	92	0	9	2	3	0	0	5										
基盤教育科目	KUISベシックス	評価と実践 I	1~2	1		5		2													
		評価と実践 II	3~4	1		5		2													
		リーダーシップ演習	1冬	1								1									
		仕事とキャリア形成 I	2春	2					1												
		仕事とキャリア形成 II	2秋	2					1												
		初年次セミナー	1春	1		4	1														
		基礎演習	1秋	1		4	1														
		学習技術	1春	1		2	1														
		リサーチ入門	1春	1																	
			基礎英語	1春	2																
	総合英語 I	1秋	2																	1	
	総合英語 II	2春	2																	1	
	オーラルイングリッシュ I	1秋	1																	1	
	第1外国語(英語) オーラルイングリッシュ II	2春	1																	1	
	オーラルイングリッシュ III	2秋	1																	1	
	インテンシブイングリッシュ I	1夏	1																	1	
	インテンシブイングリッシュ II	1冬	1																	1	
	英語 I	1春	4																	1	
	英語 II	1秋	4																	1	
	英語 III	2春	4																	1	
	英語 IV	2秋	4																	1	

	日本文化史	1春	2																	1	
	近代社会論	1春	2																	1	
	地理学	1春	2																	1	
	人文地理	1春	2																	1	
	法律学概論	1春	2																	1	
	インターンシップ I	2夏	2		4					1	1										
	インターンシップ II	3夏	4								1										
	小計(49科目)	-	0	96	0																
基盤教育科目	KUISベシックス	評価と実践 I	1~2	1							10	3	2								
		評価と実践 II	3~4	1								10	3	2							
		リーダーシップ演習	1冬	1																	1
		仕事とキャリア形成 I	2春	2					1			2	2	1							1
		仕事とキャリア形成 II	2秋	2					1			2									1
		仕事とキャリア形成 III	3	2																	
		初年次セミナー	1春	1								8	1								
		基礎演習	1秋	1								8	1								
		学習技術	1春	1								6	2								1
		リサーチ入門	1春	1																	1
	基礎英語	1春	2																	5	
	総合英語 I	1秋	2																	5	
	総合英語 II	2春	2																	5	
	オーラルイングリッシュ I	1秋	1																	5	
	第1外国語(英語) オーラルイングリッシュ II	2春	1																	1	
	オーラルイングリッシュ III	2秋	1																	1	
	インテンシブイングリッシュ I	1春	1																	1	
	インテンシブイングリッシュ II	1秋	1																	1	
	英語 I	1春	4																	1	
	英語 II	1秋	4																	1	
	英語 III	2春	4																	1	
	英語 IV	2秋	4																	1	

	第2外国語	中国語 I	1春	2							1		
		中国語 II	1秋	2							1		
		韓国・朝鮮語 I	1春	2							1		
		韓国・朝鮮語 II	1秋	2							1		
	留学生対象の日本語	日本語 I	1春	2							1		
		日本語 II	1秋	2							1		
		日本語 III	1春	2							1		
		日本語 IV	1秋	2							1		
		日本語 V	1春	2							1		
	基盤教育科目	コンベンシックス	アカデミック日本語 I	1春	1							1	
アカデミック日本語 II			1秋	1							1		
日本語ライティング I			1春	1							1		
日本語ライティング II			1秋	1							1		
ビジネス日本語 I			1春	1							1		
ビジネス日本語 II			1春	1							1		
専門日本語 I			1秋	1							1		
専門日本語 II			1秋	1							1		
情報			ICTリテラシー	1春	2		2						
			ICT活用 A	1秋	2		1						
	ICT活用 B	2春	2			1							
	ICT活用 C	2秋	2		1								
スポーツ	生涯スポーツ I	1春	1								1		
	生涯スポーツ II	1秋	1								1		
小計(44科目)			-	10	64	0	6	2	1	0	0	10	
人間の理解	人間学 I	1春	2								3		
	人間学 II	1秋	2		1						2		
	倫理と社会生活	1秋	2								1		
	人権と法	1春	2								1		

	第2外国語	中国語 I	1春	2							1		
		中国語 II	1秋	2							1		
		韓国・朝鮮語 I	1春	2							1		
		韓国・朝鮮語 II	1秋	2							1		
		インドネシア語	2春	1							1		
	マレー語	2秋	1										
	留学生対象の日本語	日本語 I	1春・秋	2								1	
		日本語 II	1春・秋	2								1	
		日本語 III	1春・秋	2								1	
		日本語 IV	1春・秋	2								1	
日本語 V		1春・秋	2								1		
基盤教育科目	コンベンシックス	アカデミック日本語 I	2春	1							1		
		アカデミック日本語 II	2秋	1							1		
		日本語ライティング I	2春	1							1		
		日本語ライティング II	2秋	1							1		
		ビジネス日本語 I	2春	1							1		
		ビジネス日本語 II	2春	1							1		
		専門日本語 I	2秋	1							1		
		専門日本語 II	2秋	1							1		
		情報	ICTリテラシー	1春	2			3	2	1			
			ICT活用 A	1秋	2			2		1			
ICT活用 B	2春		2			1		1					
ICT活用 C	2秋		2										
スポーツ	生涯スポーツ I	1春	1								1		
	生涯スポーツ II	1秋	1								1		
小計(46科目)			-	10	68	0							
人間の理解	人間学 I	1春	2								3		
	人間学 II	1秋	2			2		1					
	倫理と社会生活	1秋	2								1		
	人権と法	1春	2								1		

リベラルアーツ	社会と生活	近現代の歴史	1秋	2							1
		日本国憲法	1春	2							1
		国際社会と政治	1春	2							1
		社会階層と文化	1秋	2							1
	科学と生活	環境と生活	1秋	2							1
		データサイエンス	1秋	2							1
		生命と倫理	1秋	2							1
		情報と社会	1春	2		1					
		小計(12科目)	-	4	20	0	2	0	0	0	0
	基盤教育科目	グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ	2夏	1		4	1	1		
グローバルスタディⅡ			2夏	2		2					
グローバルスタディⅢ			2夏	3							1
地域研究(欧米圏)			1秋	2							1
地域研究(アジア圏)			1秋	2							1
日本事情(日本社会)			1秋	2							1
日本文化論			1春	2							1
小計			-	0	73	0	6	2	1	0	0
コミュニケーションスタディ		サービスラーニングA	1夏	1			1				
		サービスラーニングB	1夏	2				1			
		地域防災減災論	1冬	2		1					
		災害と安全	1冬	2							3
ボランティア論		1春	2							1	
特別研究		特別研究Ⅰ	※	1							1
		特別研究Ⅱ	※	2							1
		特別研究Ⅲ	※	3							1
		特別研究Ⅳ	※	4							1
課題研究		課題研究Ⅰ	※	4		1					
		課題研究Ⅱ	※	8		1					
		課題研究Ⅲ	※	12		1					
	課題研究Ⅳ	※	16		1						
小計(20科目)	-	0	73	0	6	2	1	0	0	5	
合計(140科目)	-	54	277	0	9	2	3	0	0	32	
卒業要件及び履修方法											
必修科目として専門教育科目「基礎科目」より20単位、「総合演習科目」より20単位、基盤教育科目「KUISベーシック」より8単位、「コンベンシックス」より2単位、「リベラルアーツ」より4単位の計64単位、選択必修科目として、専門教育科目「基幹科目」より8単位以上、基盤教育科目「コンベンシックス」より8単位以上、「リベラルアーツ」より6単位以上、「グローバルスタディ」より1単位以上の計23単位以上を修得した上で、選択科目として、専門教育科目及び基盤教育科目から39単位以上を別に修得し、卒業要件である126単位を満たすこと。(履修科目の登録の上限:25単位(1学期))											

リベラルアーツ	社会と生活	近現代の歴史	1秋	2							1
		日本国憲法	1春	2							1
		国際社会と政治	1春	2							1
		社会階層と文化	1秋	2							1
	科学と生活	環境と生活	1秋	2							1
		データサイエンス	1秋	2					2		
		生命と倫理	1秋	2							1
		情報と社会	1春	2						1	
		小計(12科目)	-	4	20	0					
	基盤教育科目	グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ	2夏	1		3		1		
グローバルスタディⅡ			2夏	2		2					
グローバルスタディⅢ			2夏	3							1
グローバルスタディⅣ			2夏	4							1
地域研究(北米圏)			1秋	2							1
地域研究(アジア圏)			1秋	2							1
日本事情(日本社会)			1秋	2							1
日本文化論			1春	2		1					
小計		-	0	77	0	14	5	2	0	0	
コミュニケーションスタディ		サービスラーニングA	1夏	1		4		1			
		サービスラーニングB	1夏	2							1
		地域防災減災論	1春・冬	2					1		
		災害と安全	1冬	2							1
ボランティア論		1春	2							1	
特別研究		特別研究Ⅰ	※	1							
		特別研究Ⅱ	※	2							2
		特別研究Ⅲ	※	3							
		特別研究Ⅳ	※	4							
課題研究		課題研究Ⅰ	※	4							
		課題研究Ⅱ	※	8							
	課題研究Ⅲ	※	12								
	課題研究Ⅳ	※	16								
小計(20科目)	-	0	77	0	14	5	2	0	0		
合計(155科目)	-	54	293	0	14	5	2	0	0		
卒業要件及び履修方法											
必修科目として専門教育科目「基礎科目」より20単位、「総合演習科目」より20単位、基盤教育科目「KUISベーシック」より8単位、「コンベンシックス」より2単位、「リベラルアーツ」より4単位の計54単位、選択必修科目として、専門教育科目「基幹科目」より8単位以上、展開科目より30単位以上、基盤教育科目「コンベンシックス」より8単位以上、「リベラルアーツ」より4単位以上、「グローバルスタディ」及び「コミュニケーションスタディ」より1単位以上の計52単位以上を修得した上で、選択科目として、専門教育科目及び基盤教育科目から20単位以上を別に修得し、卒業要件である126単位を満たすこと。(履修科目の登録の上限:25単位(1学期))											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	経営学概論	1春	4			2						
	経済学概論	1秋	4			1		1				
	マーケティング	1春	4			1		1				
	ファイナンス	1秋	4			1	1					
	ビジネス統計学	2春	4			1						
	小計(5科目)	-	20	0	0	6	1	2	0	0	0	0
総合演習科目	業界研究	1冬	2			4						
	プロジェクトマネジメント演習Ⅰ	1秋	2			4						
	プロジェクトマネジメント演習Ⅱ	2春	2			1		2				
	プロジェクトマネジメント演習Ⅲ	2秋	4			2		2				
	プロジェクトマネジメント演習Ⅳ	3春	4			2	1	1				
	マネジメント専門演習	3秋	2			2	2	2				
	卒業研究	4通	4			10	2	2				
小計(7科目)	-	20	0	0	12	2	2	0	0	0	0	
基幹科目	地域経営概論	2春		2				1				
	公共サービス論	2秋		2		1						
	コミュニティビジネス	3春		2		1						1
	地域マネジメント	2春		4		1						1
	セーフティマネジメント論	2春		2		1						
	危機管理入門	2秋		2		1				1		
	企業危機管理論	3春		2		1						
	防災・復興組織論	3秋		2		1						
	ホスピタリティマネジメント	2春		4								1
	観光産業論	2春		2		1						
	アジア文化論	3春		2		1						
小計(11科目)	-	0	26	0	4	0	1	0	0	0	0	
展開科目	サービス企画論	2秋		2		1						
	ビジネスプロモーション	3春		2								1
	ビジネスコミュニケーション技法	2秋		2								1
	コンプライアンス	2春		2		1						
	顧客満足論	2秋		2		1						
	発想法	2秋		2			1					
展開科目	観光産業特論	2秋		2		1						
	観光実務論	2秋		2		1						
	観光実務特論	2秋		2		1						1
	インバウンドツーリズム産業論	2秋		2		1						
	インバウンド商品企画演習	2秋		2		1						
	ホテルマネジメント	2秋		2								1
	実用英語A	2春		2								1
	実用英語B	2秋		2								1
	ビューティビジネス論	2秋		2		1						
	ビューティ技術論	2秋		2		1						
	ビューティ・コーディネーター論	3春		2		1						
	コスメティック論	3春		2		1						
	ブライダル産業論	3秋		2			1					
	セレモニー産業論	2秋		2			1					
	セレモニー産業特論	3春		2			1					
	地域マネジメント特論	2秋		2				1				
	環境保全論	2秋		2								1
	公共サービス特論	2秋		2		1						1
	危機管理・防災演習	3秋		2				1				
	危機管理リーダーシップ論	3春		2		1						
コミュニティ防災	3春		2		1							

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	経営学概論	1春	4			2						
	経済学概論	1秋	4				1	1				
	マーケティング	1春	4			1		1				
	ファイナンス	1秋	4			1	1					
	ビジネス統計学	2春	4			2						
	小計(5科目)	-	20	0	0	6	2	2	0	0	0	0
総合演習科目	業界研究	1冬	2			3		1				
	プロジェクトマネジメント演習Ⅰ	1秋	2			3		1				
	プロジェクトマネジメント演習Ⅱ	2春	2			4	2	2				
	プロジェクトマネジメント演習Ⅲ	2秋	4			5	2	2				
	プロジェクトマネジメント演習Ⅳ	3春	4				2	2				
	マネジメント専門演習	3秋	2			3	2	3				
	卒業研究	4通	4			10	2	2				
小計(7科目)	-	20	0	0	11	3	3	0	0	0	0	
基幹科目	地域経営概論	2春		2				1				
	公共サービス論	2秋		2		1						
	コミュニティビジネス	3春		2								1
	地域マネジメント	2春		4								1
	セーフティマネジメント論	2春		2		1						
	危機管理入門	2秋		2		1		1				
	企業危機管理論	3春		2		1						
	防災・復興組織論	3秋		2		1						
	ホスピタリティマネジメント	2春		4								1
	観光産業論	2春		2		1						
	アジア文化論	3春		2		1						
小計(11科目)	-	24	26	0	4	0	1	0	0	0	0	
展開科目	サービス企画論	2秋		2		1						
	ビジネスプロモーション	3春		2								1
	ビジネスコミュニケーション技法	2秋		2								1
	コンプライアンス	2春		2		1						
	顧客満足論	2秋		2		1						
	発想法	2秋		2		2	2	1				1
展開科目	観光産業特論	2秋		2		1						
	観光実務論	2秋		2		1						
	観光実務特論	2秋		2		2						1
	インバウンドツーリズム産業論	2秋		2		1						
	インバウンド商品企画演習	2秋		2		1						
	ホテルマネジメント	2秋		2								1
	実用英語A	2春		2								1
	実用英語B	2秋		2								1
	ビューティビジネス論	2秋		2		1						
	ビューティ技術論	2秋		2		1						
	ビューティ・コーディネーター論	3春		2		1						
	コスメティック論	3春		2		1						
	ブライダル産業論	3秋		2					1			
	セレモニー産業論	2秋		2					1			
	セレモニー産業特論	3春		2					1			
	地域マネジメント特論	2秋		2						1		
	環境保全論	2秋		2								1
	公共サービス特論	2秋		2		1						1
	危機管理・防災演習	3秋		2					1			
	危機管理リーダーシップ論	3春		2		1						
コミュニティ防災	3春		2		1			1				

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼務		
			単	位	数	専	任	教	員	等		の	配
基礎科目	経営学概論	1春	4			2							
	経済学概論	1秋	4				1						
	マーケティング	1春	4			1		1					
	ファイナンス	1秋	4			1	1						
	ビジネス統計学	2春	4									1	
	小計(5科目)	-	20	0	0								
総合演習科目	業界研究	1冬	2			4	1						
	プロジェクトマネジ	1秋	2			4	1						
	プロジェクトマネジ	2春	2			5	1						
	プロジェクトマネジ	2秋	4			6	0	1					
	プロジェクトマネジ	3春	4			5	2	1					
	マネジメント専門演	3秋	2			5	2	1					
	卒業研究	4通	4			9	2	3					
	小計(7科目)	-	20	0	0								
基幹科目	地域経営概論	2春	2									1	
	公共サービス論	2秋	2			1						1	
	コミュニティビジネ	3春	2									1	
	地域マネジメント	2春	4									1	
	セーフティマネジメ	2春	2			1							
	危機管理入門	2秋	2			1		1					
	企業危機管理論	3春	2			1							
	防災・復興組織論	3秋	2				1						
		展開科目へ											
		展開科目へ											
		展開科目へ											
	経営戦略論	2春	2			2							
	経営組織論	2春	2			1						1	
	中小企業論	2春	2										
	マーケティングリサーチ	3秋	2					1				1	
マネジメント・サイエンス	2春	2											
顧客満足論	2秋	2			1								
経営分析	3春	2			1	1							
	廃止												
	小計(15科目)	-	0	32	0								
展開科目	ホスピタリティマネ	2春	4									1	
	サービス企画論	2秋	2			1						1	
	ビジネスプロモー	3春	2									1	
展開科目	ビジネスコミュニ	2秋	2			1							
	コンプライアンス	2春	2			1							
		基幹科目へ											
	発想法	2秋	2			3	1					1	
	観光産業特論	2秋	2			1							
	観光実務論	2秋	2			1							
	観光実務特論	2秋	2			1						1	
	インバウンドツーリ	2秋	2			1							
	インバウンド商品	2秋	2			1							
	ホテルマネジメント	2秋	2									1	
	実用英語A	2春	2									1	
	実用英語B	2秋	2									1	
	ビューティビジネス	2秋	2			1							
	ビューティ技術論	2秋	2			1							
	ビューティ・コー	3春	2			1							
	コスメティック論	3春	2			1							
	ブライダル産業論	3秋	2					1					
	セレモニー産業論	2秋	2					1					
	セレモニー産業特	3春	2					1					
	地域マネジメント特	2秋	2					1					
	環境保全論	2秋	2									1	
	公共サービス特論	2秋	2									1	
	危機管理・防災演	3秋	2						1				
	危機管理リーダー	3春	2						1				
	コミュニティ防災	3春	2			1							
	国際防災協力	3春	2			1							
	安全安心社会特論	3秋	2						1				
	フードセキュリティ	3秋	2									1	
		基幹科目へ											
	インターネットマー	3春	2			1			1				
国際経済論	3秋	2					2						
アジアマーケティン	3秋	2			1								
	基幹科目へ												
商業簿記	3秋	2			1	1							
	基幹科目へ												
財務会計論	2春	2			1								
国際経営論	3春	2			1						1		
原価会計	3春	2			1	1							
	基幹科目へ												
広告論	3秋	2						1					
産業心理学	3秋	2									1		
日本史概説	1春	2											
外国史概説	1春	2									1		
日本文化史	1春	2									1		
近代社会論	1春	2									1		
地理学	1春	2									1		
人文地理	1春	2									1		
法律学概論	1春	2									1		
インターンシップ I	2夏	2			4	1	1						
インターンシップ II	3夏	4						1					
	小計(49科目)	-	0	96	0								

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教育効果を高めるため、「経営学概論」の専任教員の配置を「教授1」から「教授2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「経済学概論」の配当時期を「1春」から「1秋」に変更し、専任教員の配置を「講師1」から「教授1」「講師1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「マーケティング」の配当時期を「1秋」から「1春」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「ファイナンス」の専任教員の配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
- ・カリキュラム編成整理のため、「業界研究実習」を「業界研究」に名称変更し、教育効果を高めるため、専任教員の配置を「教授3」から「教授4」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「プロジェクトマネジメント演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授2」「講師2」から「教授4」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「マネジメント専門演習」の専任教員の配置を「教授1」「准教授2」「講師3」から「教授2」「准教授2」「講師2」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「卒業研究」の専任教員の配置を「教授9」「准教授2」「講師3」から「教授10」「准教授2」「講師2」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「公共サービス論」の専任教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「コミュニティビジネス」の専任教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「地域マネジメント」の専任教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「インバウンドツーリズム産業論」と「観光実務論」の2科目を基幹科目から展開科目へと設定を変更。
- ・教育内容の充実を図るため、基幹科目に「観光産業論」を新規科目として追加し、専任教員「教授1」を配置。
- ・教育内容の充実を図るため、「アジア文化論」の教員配置を「兼任1」から専任教員「教授1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「サービス企画論」の専任教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、展開科目に「観光実務特論」を新規科目として追加し、専任教員「教授1」を配置。
- ・教育内容の充実を図るため、展開科目に「実用英語A」と「実用英語B」の2科目を追加し、兼任教員を各1名ずつ配置。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「コスメティック論」の単位数を「4単位」から「2単位」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「セレモニー産業特論」の単位数を「4単位」から「2単位」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「環境保全論」の単位数を「4単位」から「2単位」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「公共サービス特論」の専任教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「フードセキュリティ」の専任教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・教員組織調整に伴い、「マーケティングリサーチ」の専任教員の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「インターネットマーケティング」の専任教員の配置を「講師1」から「教授1」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「アジアマーケティング論」の単位数を「4単位」から「2単位」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「評価と実践Ⅰ」「評価と実践Ⅱ」の専任教員の配置を各「教授5」「講師2」から各「教授5」「准教授2」に変更。

- ・教育内容の充実を図るため、「仕事とキャリア形成Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「初年次セミナー」の専任教員の配置を「教授4」「准教授1」から「教授4」「准教授2」に変更し、さらに兼任教員を1名追加。
- ・教育内容の充実を図るため、「基礎演習」の専任教員の配置を「教授4」「准教授1」から「教授4」「准教授2」に変更し、さらに兼任教員を1名追加。
- ・教育内容の充実を図るため、「学習技術」の専任教員の配置を「教授2」「准教授1」から「教授3」「講師1」に変更し、さらに兼任教員を3名追加。
- ・教育内容の充実を図るため、「リサーチ入門」の兼任教員の「兼任1」から「兼任2」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「インテンシブイングリッシュⅠ」の配当時期を「1夏」から「1春」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「インテンシブイングリッシュⅡ」の配当時期を「1冬」から「1秋」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「日本語Ⅰ」の配当時期を「1春」から「1春・秋」の2回開講に変更。
- ・教育効果を高めるため、「日本語Ⅱ」の配当時期を「1秋」から「1春・秋」の2回開講に変更。
- ・教育効果を高めるため、「日本語Ⅲ」の配当時期を「1春」から「1春・秋」の2回開講に変更。
- ・教育効果を高めるため、「日本語Ⅳ」の配当時期を「1秋」から「1春・秋」の2回開講に変更。
- ・教育効果を高めるため、「日本語Ⅴ」の配当時期を「1春」から「1春・秋」の2回開講に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「アカデミック日本語Ⅰ」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「アカデミック日本語Ⅱ」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「日本語ライティングⅠ」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「日本語ライティングⅡ」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「ビジネス日本語Ⅰ」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「ビジネス日本語Ⅱ」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「専門日本語Ⅰ」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。
- ・カリキュラムの一部見直しのため、「専門日本語Ⅱ」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「データサイエンス」の教員配置を「兼任1」から専任教員の「教授1」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「グローバルスタディⅠ」の専任教員の配置を「教授4」「准教授1」「講師1」から「教授5」に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「サービ斯拉ーニングA」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・教員組織調整のため、「サービ斯拉ーニングB」の教員配置を専任教員「講師1」から「兼任1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「地域防災減災論」の配当時期を「1冬」から「1春・冬」の2回開講に変更。
- ・教育内容の充実を図るため、「特別研究Ⅰ」の教員配置を「兼任1」から専任教員の「講師1」に変更。

【令和2年度】

- 教育内容の充実ため、ビジネス統計学の担当者を「教授1」から「教授2」に変更
- 教員間調整のため、業界研究の担当者を「教授4」から「教授3、講師1」変更
- 教員間調整のため、プロジェクトマネジメント演習Ⅰ～Ⅳの担当者を変更
- 教員間調整のため、マネジメント専門演習の担当者を変更
- 教員間調整のため、コミュニティビジネス、地域マネジメントの担当者を変更
- 教育内容の充実ため、発想法の担当者を「准教授1」から「教授2、准教授2、講師1」に増
- 教員間調整のため、観光実務特論の担当者を変更
- 教員間調整のため、公共サービス特論の担当者を変更
- 教員間調整のため、インターンシップⅠ、Ⅱの担当者を変更
- 教員間調整のため、評価と実践Ⅰ、Ⅱの担当者を変更
- 教員間調整のため、仕事とキャリア形成Ⅰの担当者を変更
- 教員間調整のため、初年次セミナーの担当者を変更
- 教員間調整のため、基礎演習の担当者を変更
- 教育内容充実のため、ICTリテラシーの担当者を「教授2」から「教授2、准教授2、講師1」に増

【令和3年度】

専任教員の異動により、「ビジネス統計学」の担当者を教授1 から 兼任1に変更
 教員の科目調整により、「業界研究」の担当者を 教授4 准教授1に変更
 教員の科目調整により、「プロジェクトマネジメント演習Ⅰ」の担当者を教授4、准教授1に変更
 教員の科目調整により、「プロジェクトマネジメント演習Ⅱ」の担当者を教授5、准教授1に変更
 教員の科目調整により、「プロジェクトマネジメント演習Ⅲ」の担当者を教授6、講師1に変更
 教員の科目調整により、「プロジェクトマネジメント演習Ⅳ」の担当者を教授5、准教授2、講師1に変更
 教員の科目調整により、「マネジメント専門演習」の担当者を教授5、准教授2、講師1に変更
 教員の科目調整により、「地域経営論」の担当者を、講師1から兼任1に変更
 教員の科目調整により、「防災・復興組織論」の担当者を、教授1から准教授1に変更
 教員の科目調整により、「経営戦略論」の担当者を、教授2、講師1から、教授2に変更
 教育の充実を図るため、「経営分析」の担当者を、教授1から、教授1、准教授1に変更
 専任教員の異動により、「ビジネスコミュニケーション技法」の担当者を、兼任1から教授1に変更
 教員の科目調整により、「発想法」の担当者を、教授2、准教授2、講師1に変更
 教員の科目調整により、「危機管理リーダーシップ論」の担当者を、教授1から講師1に変更
 定員増と教員の科目調整により、「評価と実践Ⅰ」の担当者を教授8、准教授1、講師1に変更
 教員の科目調整により、「評価と実践Ⅱ」の担当者を教授2、准教授1に変更
 教員の科目調整により、「仕事とキャリア形成Ⅰ」の担当者を教授2、准教授1に変更
 教員の科目調整により、「仕事とキャリア形成Ⅱ」の担当者を教授1に変更
 教員の科目調整により、「初年次セミナー」の担当者を教授5、准教授3、講師1に変更
 定員増と教員の科目調整により、「基礎演習」の担当者を教授4、准教授2、講師1に変更
 定員増と教員の科目調整により、「学習技術」の担当者を教授5、准教授2、兼任1に変更
 教育内容の充実を図るため、「ICTリテラシー」の担当者を教授2、准教授1、講師1、兼任2から、教授3、准教授1、兼任2に変更
 教員の科目調整により、「グローバルスタディⅠ」の担当者を教授4から教授3に変更
 教員の科目調整により、「グローバルスタディⅡ」の担当者を教授1から講師1から教授2に変更
 専任教員の異動により、ビジネスコミュニケーション技法の担当者を、兼任1から教授1に変更
 専任教員の異動により、「日本文化論」の担当者を、兼任1から教授1に変更
 教育内容の充実を図るため、「基礎英語」の担当者を兼任1から兼任5に変更
 教育内容の充実を図るため、「総合英語Ⅰ」の担当者を兼任1から兼任5に変更
 教育内容の充実を図るため、「基礎英語Ⅱ」の担当者を兼任1から兼任5に変更
 教育内容の充実を図るため、「オラルイングリッシュⅠ」の担当者を兼任1から兼任5に変更

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
22 科目	118 科目	0 科目	140 科目	22 科目 [0]	132 科目 [24]	0 科目 [0]	154 科目 [24]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	観光産業特論	2	2秋	専門	選択	担当教員異動による。担当科目を再編し、開講する予定。
2	観光実務論	2	2秋	専門	選択	担当教員異動による。担当科目を再編し、開講する予定。
3	インバウンド商品企画演習	2	2秋	専門	選択	担当教員異動による。担当科目を再編し、開講する予定。
4	英語 I	2	1春	一般	選択	兼任教員辞任による。担当教員が見つかり次第、開講する予定
5	英語 II	2	1秋	一般	選択	兼任教員辞任による。担当教員が見つかり次第、開講する予定
6	英語 III	2	2春	一般	選択	兼任教員辞任による。担当教員が見つかり次第、開講する予定
7	英語 IV	2	2秋	一般	選択	兼任教員辞任による。担当教員が見つかり次第、開講する予定
8	マレー語	1	2秋	一般	選択	兼任教員辞任による。担当教員が見つかり次第、開講する予定

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	アジア文化論	2	3春	専門	選択	専攻の見直しによる廃止。アジア文化については「地域研究(アジア圏)」にて教授する

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目については、担当教員が見つかり次第開講する予定である。廃止科目については、地域研究(アジア圏)において代替する。学生の周知については、ガイダンス等における案内の他、WEB上の履修システムと、電話やメールにて案内を行なっている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{9}{140} = \boxed{6.42} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	神戸山手大学現代社会学部設置者変更による増(令2) 財産目録との整合させるための修正(令2) 尼崎キャンパス運動場の売却による(令3) 運動用地は校舎敷地と別地(徒歩20分)		
	校舎敷地	34,542㎡ 9,150.6㎡	0㎡	0㎡	34,542㎡ 9,150.6㎡			
	運動場用地	37,019㎡ 38,913㎡ 48,543.3㎡	33,820㎡ 0㎡	0㎡	70,839㎡ 72,733㎡ 48,543.3㎡			
	小 計	71,561㎡ 73,455㎡ 57,693.8㎡	33,820㎡ 0㎡	0㎡	105,381㎡ 107,275㎡ 57,693.8㎡			
	そ の 他	23,769㎡ 25,068.5㎡	0㎡	0㎡	23,769㎡ 25,068.5㎡			
	合 計	95,330㎡ 97,224㎡ 82,762.3㎡	33,820㎡ 0㎡	0㎡	129,150㎡ 131,044㎡ 82,762.3㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	神戸山手大学現代社会学部設置者変更による増(令2)		
		56,099㎡ 31,536.95㎡ (56,099㎡) (-31,536.95㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	56,099㎡ 31,536.95㎡ (56,099㎡) (-31,536.95㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	語学学習施設は情報処理学習施設と併用	
		87 室	71 室	15 室	6 室 (補助職員 8 人)	0 室 (補助職員 0 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		平成31年4月 専任教員2名を新規採用のため(令) 令和2年4月 専任教員2名を新規採用のため(令2) 令和3年4月 専任教員の異動及び採用のため(令3) 専任教員の異動及び採用のため(令4)		
		経営学部 経営学科		21 20 18 16 14 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕					
			大学全体					
			計					
		308,000(20,630) 284,101(20,511)	3,000(270) 2,813(266)	3,429 [1883]	8,203	6,520 (5,734)	51 (51)	大学全体の数
		308,000(20,630) 284,101(20,511)	3,000(270) 2,813(266)	3,429 [1883]	8,203	6,520 (5,734)	51 (51)	
(6) 図 書 館	面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体の数	
	3,547㎡	486席		344,833冊				
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
	3115㎡	テニスコート5面			フットサルコート1面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	261千円	261千円	図書購入費	23,271千円	23,271千円	23,271千円
	共同研究費等	7,120千円	7,120千円	設備購入費	34,281千円	34,281千円	34,281千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,459千円	1,159千円	1,159千円	1,159千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、法人内資産移動などを運営費に充当する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	関西国際大学						学生募集停止学科数	4	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
心理学部						1.1	1.08				令和3年4月名称変更
経営学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-		平成23年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	平成31年4月募集停止
心理学科	4	125	-	500	学士(行動科学)	0.99	1.08		平成19年	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号	令和3年4月名称変更
教育学部						0.92	0.72				
教育福祉学科	4	150	-	600	学士(教育福祉学)	0.92	0.72		平成19年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	
英語コミュニケーション学科	4	-	-	-	学士(英語学)	-	-		平成19年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	平成31年4月募集停止
経営学部											
経営学科	4	175	3年次20	740	学士(経営学)	1.11	1.12	令和3年	平成31年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	令和3年4月定員増
国際コミュニケーション学部						0.83	0.48				
英語コミュニケーション学科	4	75	0	300	学士(英語学)	0.88	0.62	令和3年	平成31年	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号	
観光学科	4	80	-	320	学士(観光学)	0.52	0.35		令和3年	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号	
保健医療学部						0.95	1.15				
看護学科	4	100	0	400	学士(看護学)	0.95	1.15	令和2年	平成25年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	令和2年4月定員増
現代社会学部						-	-				
観光学科	4	-	-	-		-	-				令和2年4月設置者変更 令和3年4月学生募集停止
総合社会学科	4	-	-	-		-	-				令和2年4月設置者変更 令和3年4月学生募集停止
社会学部						0.66	0.54				
社会学科	4	100	-	400	学士(学術)	0.66	0.54		令和3年	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号	
大学全体	-	805	30	3260		0.83	0.98		-		
大学の名称	関西国際大学大学院						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
人間行動学研究科									平成17年		
人間行動学専攻	2	8	-	16	修士(人間行動学)	0.63	0.625		平成17年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	
臨床教育学専攻	2	8	-	16	修士(臨床教育学)	1.13	1		平成26年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	
看護学研究科											
看護学専攻											
博士前期	2	6	-	12	修士(看護学)	0.42	0.67		平成27年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	
博士後期	3	2	-	6	博士(看護学)	1.17	1		令和2年		
大学院全体	-	24	-	50		1.01	0.79				

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<経営学部 経営学科>

(1) - ① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和元年度】	【令和2年度】	【令和3年度】	【令和3年度】
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授(副学長)(学部長)	山下 泰生 (59) <平成31年4月> 理学士	山下 泰生 (59) <平成31年4月> 理学士	山下 泰生 (60) <平成31年4月> 理学士	山下 泰生 (62) <平成31年4月> 理学士
		卒業研究 評価と実践 I 評価と実践 II 初年次ゼミナ 基礎演習 学習技術 ICTリテラシー 情報と社会 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III 課題研究 IV	卒業研究 評価と実践 II ICTリテラシー 情報と社会 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III 課題研究 IV	卒業研究 評価と実践 II ICTリテラシー 情報と社会 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III 課題研究 IV	卒業研究 発想法 ICTリテラシー ICT活用A 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III 課題研究 IV
専	教授(学部長)	浮田 泉 (58) <平成31年4月> 修士(経営学) 修士(経済学)	浮田 泉 (58) <平成31年4月> 修士(経営学) 修士(経済学)	浮田 泉 (59) <平成31年4月> 修士(経営学) 修士(経済学)	浮田 泉 (60) <平成31年4月> 修士(経営学) 修士(経済学)
		ファイナンス 卒業研究 商業簿記 財務会計論 原価会計 経営分析 評価と実践 I 評価と実践 II 初年次ゼミナ 基礎演習 学習技術 グローバルスタディ I	ファイナンス 卒業研究 商業簿記 財務会計論 原価会計 経営分析 評価と実践 I 初年次ゼミナ 基礎演習 学習技術 ICTリテラシー グローバルスタディ II	ファイナンス 卒業研究 商業簿記 財務会計論 原価会計 経営分析 評価と実践 I 初年次ゼミナ 基礎演習 学習技術 ICTリテラシー グローバルスタディ II プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III プロジェクトマネジメント演習 IV マネジメント専門演習	ファイナンス グローバルスタディ II プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III プロジェクトマネジメント演習 IV マネジメント専門演習 卒業研究 経営分析 発想法 商業簿記 財務会計論 原価会計 インターンシップ I 評価と実践 I 評価と実践 II 学習技術 ICTリテラシー
専	教授	陳 那森 (55) <平成31年4月> 修士(理学) 博士(工学)	陳 那森 (55) <平成31年4月> 修士(理学) 博士(工学)	陳 那森 (56) <平成31年4月> 修士(理学) 博士(工学)	陳 那森 (58) <平成31年4月> 修士(理学) 博士(工学)
		卒業研究 インターンシップ I インターンシップ II 評価と実践 I 評価と実践 II 基礎演習 ICTリテラシー ICT活用A ICT活用C グローバルスタディ I	卒業研究 マネジメント専門演習 プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III マネジメント専門演習 発想法 インターンシップ I インターンシップ II 評価と実践 I 評価と実践 II 学習技術 ICT活用A ICT活用C データサイエンス グローバルスタディ I	卒業研究 プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III マネジメント専門演習 発想法 インターンシップ I インターンシップ II 評価と実践 I 評価と実践 II 学習技術 ICT活用A ICT活用C データサイエンス グローバルスタディ I	ビジネス統計学 プロジェクトマネジメント演習 IV マネジメント専門演習 卒業研究 ICT活用A ICT活用B データサイエンス グローバルスタディ I
専	教授	肖 威 (54) <平成31年4月> 博士(経営学)	肖 威 (54) <平成31年4月> 博士(経営学)	肖 威 (55) <平成31年4月> 博士(経営学)	肖 威 (57) <平成31年4月> 博士(経営学)
		経営学概論 ビジネス統計学 マネジメント専門演習 卒業研究 プロジェクトマネジメント演習 経営戦略論 経営組織論 国際経営論 インターンシップ II 評価と実践 I 初年次ゼミナ 基礎演習 グローバルスタディ I	経営学概論 マネジメント専門演習 卒業研究 プロジェクトマネジメント演習 経営戦略論 経営組織論 国際経営論 インターンシップ II 評価と実践 I 初年次ゼミナ 基礎演習 グローバルスタディ I	経営学概論 マネジメント専門演習 卒業研究 プロジェクトマネジメント演習 経営戦略論 経営組織論 国際経営論 インターンシップ II 評価と実践 I 初年次ゼミナ 基礎演習 グローバルスタディ I プロジェクトマネジメント演習 IV	経営学概論 プロジェクトマネジメント演習 IV マネジメント専門演習 卒業研究 経営戦略論 経営組織論 プロジェクトマネジメント演習 国際経営論 評価と実践 I 評価と実践 II 初年次ゼミナ 基礎演習 グローバルスタディ I
			古田 龍輔 (67) <平成31年4月> 博士(経営学)	古田 龍輔 (68) <平成31年4月> 博士(経営学)	
			経営学概論 卒業研究 企業危機管理論 サービス企画論 コンプライアンス 顧客満足論 経営戦略論 評価と実践 II	経営学概論 卒業研究 サービス企画論 コンプライアンス 顧客満足論 経営戦略論 評価と実践 II	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等										
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名	
専	教授	吹春 俊隆 (69) <平成31年4月> 修士(経済学)										
専	教授	李 容淑 (61) <平成31年4月> 修士(経営学)	専	教授	李 容淑 (61) <平成31年4月> 修士(経営学)	専	教授	李 容淑 (62) <平成31年4月> 修士(経営学)	専	教授	李 容淑 (63) <平成31年4月> 修士(経営学)	
									兼任	教授	李 容淑 (64) <平成31年4月> 修士(経営学)	
											イノベーション・観光産業論	
専	教授	本田 あけみ (62) <平成31年4月> 学士(経済学)	専	教授	本田 あけみ (62) <平成31年4月> 学士(経済学)	専	教授	本田 あけみ (63) <平成31年4月> 学士(経済学)	専	教授	本田 あけみ (64) <平成31年4月> 学士(経済学)	
											本田 あけみ (65) <平成31年4月> 学士(経済学)	
											ビュティビシズ論 ビュティ技術論 ビュティ・コネクター論 コスメティック論 仕事とキャリア形成Ⅱ 学習技術	
専	教授	藤木 清 (50) <平成31年4月> 修士(商学)	専	教授	藤木 清 (50) <平成31年4月> 修士(商学)	専	教授	藤木 清 (50) <平成31年4月> 修士(商学)				
専	教授	村田 昌彦 (62) <平成31年4月> 工学士	専	教授	村田 昌彦 (62) <平成31年4月> 工学士	専	教授	村田 昌彦 (63) <平成31年4月> 工学士	専	教授	村田 昌彦 (64) <平成31年4月> 工学士	
											村田 昌彦 (65) <平成31年4月> 工学士	
											業界研究 プロジェクトマネジメント演習Ⅰ プロジェクトマネジメント演習Ⅱ プロジェクトマネジメント演習Ⅲ 卒業研究 セーフティマネジメント論 企業危機管理論 国際防災協力 国際防災協力 グローバルスタンダードⅡ サステナビリティⅡ	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	川脇 康生 (59) <平成31年4月> 修士(経済学) 博士(国際公共政策)	専	教授	川脇 康生 (59) <平成31年4月> 修士(経済学) 博士(国際公共政策)	専	教授	川脇 康生 (60) <平成31年4月> 修士(経済学) 博士(国際公共政策)	専	教授	川脇 康生 (61) <平成31年4月> 修士(経済学) 博士(国際公共政策)
		マーケティング 卒業研究 コンプライアンス 顧客満足論 防災・復興組織論 安全安心社会特論 マーケティング・リサーチ 経営組織論 人間学Ⅱ グローバルスタディⅡ 地域防災減災論			卒業研究 安全安心社会特論 評価と実践Ⅰ 人間学Ⅱ グローバルスタディⅠ グローバルスタディⅢ			プロジェクトマネジメント演習Ⅱ プロジェクトマネジメント演習Ⅲ 卒業研究 公共サービス論 安全安心社会特論 インターンシップⅠ 評価と実践Ⅰ 人間学Ⅱ グローバルスタディⅠ グローバルスタディⅢ			プロジェクトマネジメント演習Ⅱ プロジェクトマネジメント演習Ⅲ 卒業研究 公共サービス論 安全安心社会特論 インターンシップⅠ 評価と実践Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習 人間学Ⅱ グローバルスタディⅠ グローバルスタディⅡ
		坂上 英彦 (66) <平成31年4月> 学士(建築学)	専	教授	坂上 英彦 (66) <平成31年4月> 学士(建築学)			坂上 英彦 (66) <平成31年4月> 学士(建築学)			坂上 英彦 (66) <平成31年4月> 学士(建築学)
		マーケティング 業界研究 プロジェクトマネジメント演習Ⅰ 卒業研究 公共サービス論 コミュニケーション 地域ヒマラヤ 公共サービス特論 フードセキュリティ									
		松本 茂樹 (59) (令和2年4月) 経営学士	兼任	講師	松本 茂樹 (59) (令和2年4月) 経営学士			松本 茂樹 (60) (平成31年4月) 経営学士	兼任	講師	松本 茂樹 (61) (平成31年4月) 経営学士
		公共サービス特論			公共サービス特論			公共サービス特論			
		高中 公男 (58) <令和2年4月> 博士(学術)	専	教授	高中 公男 (58) <令和2年4月> 博士(学術)			高中 公男 (58) <令和2年4月> 博士(学術)			高中 公男 (58) <令和2年4月> 博士(学術)
		プロジェクトマネジメント演習 マネジメント演習 産業心理学									
		高橋 慎二 (46) <令和2年4月> 博士(経済学)	専	教授	高橋 慎二 (46) <令和2年4月> 博士(経済学)			高橋 慎二 (46) <令和2年4月> 博士(経済学)			高橋 慎二 (46) <令和2年4月> 博士(経済学)
		マーケティング インターンシップ									
		上村 和美 (63) <平成31年4月> 博士(言語文化学)	専	教授	上村 和美 (63) <平成31年4月> 博士(言語文化学)			上村 和美 (63) <平成31年4月> 博士(言語文化学)	専	教授	上村 和美 (64) <平成31年4月> 博士(言語文化学)
		プロジェクトマネジメント演習Ⅰ プロジェクトマネジメント演習Ⅱ プロジェクトマネジメント演習Ⅲ プロジェクトマネジメント演習Ⅳ マネジメント専門演習 卒業研究 ビジネスコミュニケーション技法 インターンシップⅠ 評価と実践Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習 学習技術 ICT活用A 日本文化論			プロジェクトマネジメント演習Ⅱ プロジェクトマネジメント演習Ⅲ ビジネスコミュニケーション技法 インターンシップⅠ 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 学習技術 日本文化論 サービスラーニング A						
		佐藤 広志 (55) <令和3年4月> 教育学修士※	専	教授	佐藤 広志 (55) <令和3年4月> 教育学修士※			佐藤 広志 (55) <令和3年4月> 教育学修士※	専	教授	佐藤 広志 (56) <令和3年4月> 教育学修士※
		プロジェクトマネジメント演習Ⅰ プロジェクトマネジメント演習Ⅱ プロジェクトマネジメント演習Ⅲ プロジェクトマネジメント演習Ⅳ マネジメント専門演習 卒業研究 初年次セミナー 基礎演習 学習技術 グローバルスタディⅠ			卒業研究 発想法 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 仕事とキャリア形成Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習 学習技術 デザイン サービスラーニング A						

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								堀上 明 (57) <令和3年4月> 博士(経営学)			堀上 明 (58) <令和3年4月> 博士(経営学)
								経営学概論 業界研究 プロジェクトマネジメント演習Ⅰ プロジェクトマネジメント演習Ⅱ プロジェクトマネジメント演習Ⅲ プロジェクトマネジメント演習Ⅳ マネジメント専門演習 卒業研究 経営戦略論 顧客満足論 サービス企画論 コンプライアンス 評価と実践Ⅱ			経営学概論 プロジェクトマネジメント演習Ⅱ プロジェクトマネジメント演習Ⅲ 卒業研究 経営戦略論 経営組織論 サービス企画論 コンプライアンス 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ
								池田 敦 (67) <令和3年4月> 修士(経営学)			
								マーケティング 業界研究 プロジェクトマネジメント演習Ⅰ プロジェクトマネジメント演習Ⅱ プロジェクトマネジメント演習Ⅲ プロジェクトマネジメント演習Ⅳ マネジメント専門演習 卒業研究 評価と実践Ⅱ			
								岡村 克彦 (60) <令和3年4月> 学士(経済学)			岡村 克彦 (61) <令和3年4月> 学士(経済学)
								業界研究 プロジェクトマネジメント演習Ⅰ プロジェクトマネジメント演習Ⅱ プロジェクトマネジメント演習Ⅲ プロジェクトマネジメント演習Ⅳ マネジメント専門演習 卒業研究 発想法 インターシップⅠ 評価と実践Ⅰ 仕事とキャリア形成Ⅰ 初年次セミナー 学習技術			業界研究 プロジェクトマネジメント演習Ⅰ プロジェクトマネジメント演習Ⅱ プロジェクトマネジメント演習Ⅲ マネジメント・サイエンス 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 仕事とキャリア形成Ⅱ 初年次セミナー 基礎演習 学習技術 ICTリテラシー サービスラーニング A
											北村 正仁 (63) <令和4年4月> 経営学修士(専門職)
								業界研究 プロジェクトマネジメント演習Ⅰ プロジェクトマネジメント演習Ⅱ プロジェクトマネジメント演習Ⅲ 中小企業論 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 初年次セミナー 基礎演習 学習技術 人間学Ⅱ			
								助川 たかね (66) <令和4年4月> 修士(経営管理)			
								マーケティング プロジェクトマネジメント演習Ⅳ マネジメント専門演習 ビジネスプロモーション インターネットマーケティング 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 仕事とキャリア形成Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等			
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
専	准教授	河内山 潔 (53) <平成31年4月> 修士(商学)	専	准教授	河内山 潔 (53) <平成31年4月> 修士(商学)	専	准教授	河内山 潔 (54) <平成31年4月> 修士(商学)	専	准教授	河内山 潔 (55) <平成31年4月> 修士(商学)	専	准教授	河内山 潔 (56) <平成31年4月> 修士(商学)
		マネジメント専門演習 卒業研究 発想法 グローバル産業論 テレメニ産業論 テレメニ産業特論 仕事とキャリア形成 I 仕事とキャリア形成 II 初年次セミナー 基礎演習 学習技術 サビーストレーニング A			ファイナンス マネジメント専門演習 卒業研究 発想法 グローバル産業論 テレメニ産業論 テレメニ産業特論 評価と実践 I 仕事とキャリア形成 I 初年次セミナー 基礎演習			ファイナンス プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III プロジェクトマネジメント演習 IV マネジメント専門演習 卒業研究 発想法 グローバル産業論 テレメニ産業論 テレメニ産業特論 商業簿記 評価と実践 I 評価と実践 II 仕事とキャリア形成 I 初年次セミナー 基礎演習			ファイナンス 卒業研究 グローバル産業論 テレメニ産業論 テレメニ産業特論 原価会計 仕事とキャリア形成 I 初年次セミナー 基礎演習 サビーストレーニング A			
専	准教授	鈴木 英之 (52) <平成31年4月> 学士(経済学)	専	准教授	鈴木 英之 (52) <平成31年4月> 学士(経済学)	専	准教授	鈴木 英之 (53) <平成31年4月> 学士(経済学)	専	准教授	鈴木 英之 (54) <平成31年4月> 学士(経済学)	専	准教授	鈴木 英之 (54) <平成31年4月> 学士(経済学)
		プロジェクトマネジメント演習 I プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III プロジェクトマネジメント演習 IV マネジメント専門演習 卒業研究 評価と実践 I 評価と実践 II 初年次セミナー 基礎演習 グローバルスタディ I			プロジェクトマネジメント演習 IV マネジメント専門演習 卒業研究 評価と実践 I 評価と実践 II 初年次セミナー 基礎演習			プロジェクトマネジメント演習 IV マネジメント専門演習 卒業研究 評価と実践 I 評価と実践 II 初年次セミナー 基礎演習			プロジェクトマネジメント演習 IV マネジメント専門演習 卒業研究 評価と実践 I 評価と実践 II 初年次セミナー 基礎演習			
専	准教授		専	准教授		専	准教授	谷花佳介 (43) <令和2年4月> 博士(経済学)	専	准教授	谷花佳介 (44) <令和2年4月> 博士(経済学)	専	准教授	谷花佳介 (45) <令和2年4月> 博士(経済学)
					経済学概論 プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III プロジェクトマネジメント演習 IV 評価と実践 I 初年次セミナー 基礎演習 国際経済論 情報と社会 インターンシップ I インターンシップ II			経済学概論 プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III プロジェクトマネジメント演習 IV マネジメント専門演習 評価と実践 I 初年次セミナー 基礎演習 国際経済論 情報と社会 インターンシップ I インターンシップ II			経済学概論 プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III 卒業研究 発想法 国際経済論 インターンシップ I 評価と実践 I 評価と実践 II 学習技術 ICTリテラシー 情報と社会			
専	講師	齋藤 勝洋 (48) <平成31年4月> 修士(経営学)	専	講師	齋藤 勝洋 (48) <平成31年4月> 修士(経営学)	専	講師	齋藤 勝洋 (49) <平成31年4月> 修士(経営学)	専	講師	齋藤 勝洋 (50) <平成31年4月> 修士(経営学)	専	講師	齋藤 勝洋 (51) <平成31年4月> 修士(経営学)
		プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III プロジェクトマネジメント演習 IV マネジメント専門演習 卒業研究 インターネットマーケティング 広告論 評価と実践 I 評価と実践 II ICT活用B サビーストレーニング B			マーケティング プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III プロジェクトマネジメント演習 IV マネジメント専門演習 卒業研究 発想法 マーケティングリサーチ インターネットマーケティング 広告論 インターンシップ I インターンシップ II ICTリテラシー ICT活用A ICT活用B グローバルスタディ II			マーケティング プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III プロジェクトマネジメント演習 IV マネジメント専門演習 卒業研究 発想法 マーケティングリサーチ インターネットマーケティング 広告論 インターンシップ I インターンシップ II ICTリテラシー ICT活用A ICT活用B グローバルスタディ II			マーケティング 業界研究 プロジェクトマネジメント演習 I プロジェクトマネジメント演習 IV マネジメント専門演習 卒業研究 広告論 インターンシップ II 評価と実践 I 評価と実践 II 仕事とキャリア形成 I ICT活用A ICT活用B グローバルスタディ II			
専	准教授		専	准教授		専	准教授		専	准教授		専	准教授	田中 智子 (51) <令和4年4月> 修士(文学)
											プロジェクトマネジメント演習 III 評価と実践 I 評価と実践 II 学習技術 ICTリテラシー			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	林 万平 (38) 〈平成31年4月〉 修士(国際公共政策) 博士(政策科学)
		マネジメント専門演習 マネジメント専門演習 卒業研究 地域マネジメント 地域マネジメント特論 公共サービス論 国際経済論 グローバルスタディ I
兼任	教授(学長)	濱名 篤 (62) 〈平成31年4月〉 博士(社会学)
		人間学 I ※
兼任	教授(副学長)	浅野 考平 (67) 〈平成31年4月〉 博士(理学)
		人間学 II ※ ディメンション
兼任	教授	濱名 陽子 (63) 〈平成31年4月〉 教育学修士
		人間学 II ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	林 万平 (38) 〈平成31年4月〉 修士(国際公共政策) 博士(政策科学)
		経済学概論 業界研究 プロジェクトマネジメント演習 I プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III マネジメント専門演習 卒業研究 地域経営概論 地域マネジメント 地域マネジメント特論 危機管理・防災演習 国際経済論 学習技術 特別研究 I
兼任	教授(学長)	濱名 篤 (62) 〈平成31年4月〉 博士(社会学)
		人間学 I ※
兼任	教授(副学長)	浅野 考平 (67) 〈平成31年4月〉 博士(理学)
		人間学 II ※
兼任	教授	濱名 陽子 (63) 〈平成31年4月〉 教育学修士
		人間学 II ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	林 万平 (39) 〈平成31年4月〉 修士(国際公共政策) 博士(政策科学)
		経済学概論 業界研究 プロジェクトマネジメント演習 I プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III マネジメント専門演習 卒業研究 地域経営概論 地域マネジメント 地域マネジメント特論 危機管理・防災演習 経営戦略論 国際経営論 インターシップ I 学習技術
兼任	教授(学長)	濱名 篤 (63) 〈平成31年4月〉 博士(社会学)
		人間学 I ※
兼任	教授(副学長)	浅野 考平 (68) 〈平成31年4月〉 博士(理学)
		人間学 II ※
兼任	教授	濱名 陽子 (64) 〈平成31年4月〉 教育学修士
		人間学 II ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	林 万平 (40) 〈平成31年4月〉 修士(国際公共政策) 博士(政策科学)
		経済学概論 業界研究 プロジェクトマネジメント演習 I プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III マネジメント専門演習 卒業研究 地域経営概論 地域マネジメント 地域マネジメント特論 危機管理・防災演習 経営戦略論 国際経営論 インターシップ I 学習技術 防災・復興組織論
専	教授	飯嶋 香織 (62) 〈令和3年4月〉 修士(教育学)
		プロジェクトマネジメント演習 I プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III プロジェクトマネジメント演習 IV マネジメント専門演習 卒業研究
専	兼任	田中 栄治 (54) 〈令和3年4月〉 工学修士
		サービスラーニング B
兼任	教授(学長)	濱名 篤 (64) 〈平成31年4月〉 博士(社会学)
		人間学 I ※
兼任	教授(副学長)	浅野 考平 (69) 〈平成31年4月〉 博士(理学)
		人間学 II ※
兼任	教授	濱名 陽子 (65) 〈平成31年4月〉 教育学修士
		人間学 II ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	林 万平 (41) 〈平成31年4月〉 修士(国際公共政策) 博士(政策科学)
		業界研究 プロジェクトマネジメント演習 I プロジェクトマネジメント演習 II プロジェクトマネジメント演習 III プロジェクトマネジメント演習 IV マネジメント専門演習 防災・復興組織論 安全安心社会特論 評価と実践 I 評価と実践 II 仕事とキャリア形成 I
専	講師	田中 綾子 (48) 〈令和2年4月〉 修士(人間文化学)
		業界研究 プロジェクトマネジメント演習 I プロジェクトマネジメント演習 IV マネジメント専門演習 卒業研究 危機管理入門 危機管理・防災演習 危機管理リサーチ論 評価と実践 I 評価と実践 II ICTリテラシー 人間学 II グローバルスタディ I グローバルスタディ II 地域防災減災論
専	教授	飯嶋 香織 (62) 〈令和3年4月〉 修士(教育学)
		初年次セミナー 基礎演習
兼任	教授(学長)	濱名 篤 (65) 〈平成31年4月〉 博士(社会学)
		人間学 I ※
兼任	教授	濱名 陽子 (66) 〈平成31年4月〉 教育学修士
		人間学 I ※
兼任	教授	伊藤 尚子 (60) 〈令和4年4月〉 修士(保健学)
		人間学 I ※

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	上村 和美 (54) <平成32年4月> 博士(言語文化学)	ビジネスマルケティング技法 日本文化論	兼担	教授	上村 和美 (54) <平成31年4月> 博士(言語文化学)	ビジネスマルケティング技法 日本文化論 学習技術	兼担	教授	上村 和美 (55) <平成31年4月> 博士(言語文化学)	ビジネスマルケティング技法 日本文化論 学習技術 ICT活用A				
兼担	教授	川畑 摩紀枝 (59) <平成31年4月> Ph.D in Nursing(加国)	人間学 I ※												
兼担	教授	越山 泰子 59 <平成31年4月> Ph.D in Education(米国)	グローバルスタンダードⅢ アカデミック日本語Ⅰ アカデミック日本語Ⅱ 地域研究(欧米圏)	兼担	教授	越山 泰子 59 <平成31年4月> Ph.D in Education(米国)	アカデミック日本語Ⅰ アカデミック日本語Ⅱ	兼担	教授	越山 泰子 60 <平成31年4月> Ph.D in Education(米国)	アカデミック日本語Ⅰ アカデミック日本語Ⅱ	兼担	教授	越山 泰子 (61) <平成31年4月> Ph.D in Education(米国)	アカデミック日本語Ⅰ アカデミック日本語Ⅱ アカデミック日本語Ⅲ アカデミック日本語Ⅳ
兼担	教授	太田 裕彦 64 <平成31年4月> 学術博士	災害と安全	兼担	教授	太田 裕彦 64 <平成31年4月> 学術博士	災害と安全	兼任	講師	太田 裕彦 65 <平成31年4月> 学術博士	災害と安全	兼任	講師	太田 裕彦 (66) <平成31年4月> 学術博士	災害と安全
兼担	教授	広沢 俊宗 63 <平成31年4月> 修士(社会学)	産業心理学	兼担	教授	広沢 俊宗 63 <平成31年4月> 修士(社会学)	リサーチ入門	兼担	教授	広沢 俊宗 64 <平成31年4月> 修士(社会学)	発想法 マーケティングリサーチ 仕事とキャリア形成Ⅰ 仕事とキャリア形成Ⅱ	兼担	教授	広沢 俊宗 (65) <平成31年4月> 修士(社会学)	発想法 マーケティングリサーチ 仕事とキャリア形成Ⅰ 仕事とキャリア形成Ⅱ
				兼担	准教授	谷口 一也 (39) <平成31年4月> 博士(バイオサイエンス)	人間学 I ※ サービスマルケティング B								
兼担	准教授	横川 滋章 50 <平成31年4月> 修士(心理学)	災害と安全 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ	兼担	准教授	横川 滋章 50 <平成31年4月> 修士(心理学)	災害と安全 特別研究Ⅱ	兼担	教授	横川 滋章 51 <平成31年4月> 修士(心理学)	災害と安全 特別研究Ⅱ				
兼担	准教授	清水 拓野 47 <平成31年4月> 博士(学術)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 地域研究(アジア圏) アジア文化論	兼担	准教授	清水 拓野 47 <平成31年4月> 博士(学術)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	兼担	准教授	清水 拓野 48 <平成31年4月> 博士(学術)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	兼担	准教授	清水 拓野 (49) <平成31年4月> 博士(学術)	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ
												兼担	准教授	山本秀樹 (53) <令和4年4月> 修士(社会学)	
												兼担	教授	越山 泰子 (62) <平成31年4月> Ph.D in Education(米国)	アカデミック日本語Ⅰ アカデミック日本語Ⅱ アカデミック日本語Ⅲ アカデミック日本語Ⅳ
												兼担	教授	道免 逸子 (60) <令和4年4月> 博士(文学)	災害と安全
												兼担	教授	広沢 俊宗 (65) <平成31年4月> 修士(社会学)	産業心理学 インターンシップⅠ
												兼担	講師	尾崎慶太 (39) <令和4年4月> 修士(社会福祉学)	サービスマルケティング B
												兼担	准教授	清水 拓野 (50) <平成31年4月> 博士(学術)	地域研究(アジア圏)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	上仲 淳 (54) 〈平成31年4月〉 博士(言語文化学)
		日本語Ⅳ 日本語Ⅴ
兼任	講師	倉地 博美 (48) 〈平成31年4月〉 修士(体育学)
		生涯ｽﾎｰﾝⅠ 生涯ｽﾎｰﾝⅡ
兼任	講師	松下 義行 (48) 〈平成31年4月〉 高等学校卒
		人間学Ⅱ※
兼任	講師	岡本 託 (41) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
		近現代の歴史
兼任	講師	出嶋 陽介 (48) 〈平成31年4月〉 修士(法学)
		日本国憲法 人権と法
兼任	講師	谷 圭佑 (27) 〈平成31年4月〉 修士(政治学)
		国際社会と政治

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	前田 達郎 (53) 〈平成31年4月〉 博士(文学)
		日本語Ⅲ 日本語Ⅳ
兼任	講師	上仲 淳 (54) 〈平成31年4月〉 博士(言語文化学)
		日本語Ⅴ
兼任	講師	倉地 博美 (48) 〈平成31年4月〉 修士(体育学)
		生涯ｽﾎｰﾝⅠ 生涯ｽﾎｰﾝⅡ
兼任	講師	松下 義行 (48) 〈平成31年4月〉 高等学校卒
		人間学Ⅱ※
兼任	講師	酒詰 悠太 (38) 〈平成31年4月〉 博士(人間・環境学)
		倫理と社会生活
兼任	講師	齋藤 修 (69) 〈平成31年4月〉 法学博士
		人権と法
兼任	講師	岡本 託 (41) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
		近現代の歴史
兼任	講師	出嶋 陽介 (48) 〈平成31年4月〉 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	谷 圭佑 (27) 〈平成31年4月〉 修士(政治学)
		国際社会と政治

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	上仲 淳 (55) 〈平成31年4月〉 博士(言語文化学)
		インテｼﾞﾝｸﾞ ｲﾝｸﾞ ﾘｯｼｬⅠ インテｼﾞﾝｸﾞ ｲﾝｸﾞ ﾘｯｼｬⅡ 日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ
兼任	講師	倉地 博美 (49) 〈平成31年4月〉 修士(体育学)
		生涯ｽﾎｰﾝⅠ 生涯ｽﾎｰﾝⅡ
兼任	講師	栗山 はるな (34) 〈平成31年4月〉 人間・環境学
		倫理と社会生活
兼任	講師	齋藤 修 (70) 〈平成31年4月〉 法学博士
		人権と法
兼任	講師	岡本 託 (42) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
		近現代の歴史
兼任	講師	出嶋 陽介 (49) 〈平成31年4月〉 修士(法学)
		日本国憲法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	上仲 淳 (55) 〈平成31年4月〉 博士(言語文化学)
		インテｼﾞﾝｸﾞ ｲﾝｸﾞ ﾘｯｼｬⅠ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ アカデミック日本語Ⅰ アカデミック日本語Ⅱ
兼任	講師	倉地 博美 (50) 〈平成31年4月〉 修士(体育学)
		生涯ｽﾎｰﾝⅠ 生涯ｽﾎｰﾝⅡ
兼任	講師	岡田悠汰 (27) 〈令和3年4月〉 修士(人間・環境学)
		倫理と社会生活
兼任	講師	岡本 託 (43) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
		近現代の歴史
兼任	講師	出嶋 陽介 (50) 〈平成31年4月〉 修士(法学)
		日本国憲法 人権と法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	前田 達郎 (56) 〈平成31年4月〉 博士(文学)
		日本語Ⅲ 日本語Ⅳ 日本語Ⅴ
兼任	講師	上仲 淳 (56) 〈平成31年4月〉 博士(言語文化学)
		インテｼﾞﾝｸﾞ ｲﾝｸﾞ ﾘｯｼｬⅠ インテｼﾞﾝｸﾞ ｲﾝｸﾞ ﾘｯｼｬⅡ
兼任	講師	倉地 博美 (50) 〈平成31年4月〉 修士(体育学)
		生涯ｽﾎｰﾝⅠ 生涯ｽﾎｰﾝⅡ
兼任	講師	岡田悠汰 (28) 〈令和3年4月〉 修士(人間・環境学)
		倫理と社会生活
兼任	講師	岡本 託 (44) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
		近現代の歴史
兼任	講師	出嶋 陽介 (50) 〈平成31年4月〉 修士(法学)
		日本国憲法 人権と法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	志田 未来 (31) <平成31年4月> 修士(人間科学)
		社会階層と文化
兼任	講師	今井 良一 (46) <平成31年4月> 博士(農学)
		環境と生活
兼任	講師	森本 誠一 (41) <平成31年4月> 博士(文学)
		生命と倫理
兼任	講師	坂上 雅翁 (66) <平成31年4月> 修士(文学)
		倫理と社会生活

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	志田 未来 (31) <平成31年4月> 修士(人間科学)
		社会階層と文化
兼任	講師	今井 良一 (46) <平成31年4月> 博士(農学)
		環境保全論 環境と生活
兼任	講師	森本 誠一 (41) <平成31年4月> 博士(文学)
		生命と倫理
兼任	講師	服部 聡 (51) <平成31年4月> 博士(政治学)
		地域研究(北米圏)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	Bae Junsob (32) <令和2年4月> 修士(政治学)
		国際社会と政治
兼任	講師	伊藤 莉央 (28) <令和1年月> 修士(人間科学)
		社会階層と文化
兼任	講師	今井 良一 (47) <平成31年4月> 博士(農学)
		環境保全論 環境と生活
兼任	講師	森本 誠一 (42) <平成31年4月> 博士(文学)
		生命と倫理
兼任	講師	田中 きく代 (70) <令和2年4月> 修士(文学)
		地域研究(北米圏)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	轟 蕙菁 (26) <令和3年4月> 修士(人間科学)
		リサーチ入門
兼任	講師	今井 良一 (48) <平成31年4月> 博士(農学)
		環境保全論 環境と生活 環境とエネルギー
兼任	講師	森本 誠一 (42) <平成31年4月> 博士(文学)
		生命と倫理
兼任	講師	田中 きく代 (71) <令和2年4月> 修士(文学)
		地域研究(北米圏)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	金恩貞 (50) <令和4年4月> 博士(政治学)
		国際社会と政治
兼任	講師	轟 蕙菁 (27) <令和4年4月> 修士(人間科学)
		リサーチ入門 社会階層と文化
兼任	講師	今井 良一 (49) <平成31年4月> 博士(農学)
		環境と生活 環境とエネルギー
兼任	講師	岡部 清一 (62) <令和4年4月> 学士(水産学)
		環境保全論
兼任	講師	森本 誠一 (43) <平成31年4月> 博士(文学)
		生命と倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石井大輔 (46) <令和3年4月> 博士(学術)
		近代社会論
兼任	講師	水谷彰伸 (50) <令和3年4月> 修士(文学)
		地理学 人文地理学
兼任	講師	佐橋謙一 (45) <令和3年4月> 修士(法学)
		法律学概論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	石井大輔 (47) <令和3年4月> 博士(学術)
		近代社会論
兼任	講師	水谷彰伸 (51) <令和3年4月> 修士(文学)
		地理学 人文地理学
兼任	講師	佐橋謙一 (46) <令和4年4月> 修士(法学)
		法律学概論 基礎英語 総合英語 I 総合英語 II オーラルインク リッシュ I

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・平成31年4月古田龍輔教授就任
- ・平成31年4月坂上英彦教授就任

【令和2年度】

- ・令和2年3月坂上英彦教授退職
- ・令和2年4月高中公男教授就任
- ・令和2年4月高橋慎二教授就任
- ・令和2年4月谷花佳介准教授就任
- ・令和2年4月田中綾子講師配置換えにより就任

【令和3年度】

- ・令和3年3月古田龍輔教授退職
- ・令和3年3月高中公男教授退職
- ・令和3年3月高橋慎二教授退職
- ・令和3年4月堀上明教授就任
- ・令和3年4月池田敦教授就任
- ・令和3年4月岡村勝彦教授就任
- ・令和3年4月藤木清教授他学部へ配置換え
- ・令和3年4月上村和美教授配置換えにより就任
- ・令和3年4月佐藤広志教授配置換えにより就任
- ・令和3年4月飯嶋香織教授配置換えにより就任

【令和4年度】

- ・令和4年3月 池田 敦教授退職
- ・令和4年4月 北村正仁教授就任
- ・令和4年4月 前川たかね教授就任
- ・令和4年4月 田中智子准教授配置換えにより就任
- ・令和4年4月 李容淑教授国際コミュニケーション学部へ配置換え

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14 名	7 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
10	2	2	0	14	0	14	5	2	0	21	0
(10)	(2)	(2)	(0)	(14)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
14	5	2	0	21	0	14	5	2	0	21	0
[4]	[3]	[0]	[0]	[7]	[0]	[4]	[3]	[0]	[0]	[7]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	3 名	3 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{21}{14} = 150\%$$

数式が入力されています。

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{21} = 14.28\%$$

数式が入力されています。

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \#DIV/0!\%$$

数式が入力されています。

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		なし					
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	坂上 英彦	R2.3	必修	マーケティング	①	自己都合による退職 (R2)
				必修	業界研究	①	
				必修	プロジェクトマネジメント演習Ⅰ	①	
				必修	卒業研究	①	
				選択	公共サービス論	①	
				選択	コミュニケーション	①	
				選択	地域マネジメント	①	
				選択	公共サービス論	①	
				選択	フードセキュリティ	①	
2	教授	高中 公男	R3.3	必修	プロジェクトマネジメント演習	①	自己都合による退職 (R3)
				必修	マネジメント演習	①	
				選択	産業心理学	②	
3	教授	高橋 慎二	R3.3	必修	マーケティング	①	自己都合による退職 (R3)
				選択	インターンシップ	①	
4	教授	池田 敦	R4.3	必修	マーケティング	①	自己都合による退職 (R4)
				選択	業界研究	①	
				必修	プロジェクトマネジメント演習Ⅰ	①	
				必修	プロジェクトマネジメント演習Ⅱ	①	
				必修	プロジェクトマネジメント演習Ⅲ	①	
				必修	プロジェクトマネジメント演習Ⅳ	①	
				必修	マネジメント専門演習	①	
				必修	卒業研究	①	
				必修	評価と実践Ⅱ	①	

合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)						
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
4	人	必修	16	科目	必修	16	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	6	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	24	科目	計	22	科目	計	1	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)						
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
4	人	必修	16	科目	必修	16	科目	必修	0	科目
		選択	8	科目	選択	6	科目	選択	1	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	24	科目	計	22	科目	計	1	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{4}{14} = \boxed{28.57} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	吹春 俊隆	必修	経済学概論	①	R2. 3. 31付け70歳で定年退職 (R2)
			必修	プロジェクトマネジメント演習Ⅱ	①	
			必修	プロジェクトマネジメント演習Ⅲ	①	
			必修	プロジェクトマネジメント演習Ⅳ	①	
			必修	評価と実践Ⅰ	①	
			必修	初年次セミナー	①	
			必修	基礎演習	①	
			選択	インターシップⅠ	①	
			選択	インターシップⅡ	①	
2	教授	古田 龍輔	必修	経営学概論	①	R3. 3. 31付け70歳で定年退職 (R3)
			必修	卒業研究	①	
			選択	サービス企画論	①	
			選択	コンプライアンス	①	
			選択	顧客満足論	①	
			選択	経営戦略論	①	
			必修	評価と実践Ⅱ	①	

合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
2 人	必修	10	科目	必修	10	科目	必修	0	科目
	選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	16	科目	計	16	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

令和4年3月末に1名の教員が退職したが、後任として新たに2名の教員を採用し、教員組織の充実を図っており、教育体制は大きな問題はないと考えている。教員の交代に関する学生への周知方法は、リフレクシオンディやゼミ、WEBなどを通じて行っている。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届 出 時 (平成30年)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	教育課程の充実を図ることに重点を置き、専門性を重視した教員の補充を行った結果、届出時の14名に加え、新たに定年を超えた2名が教授として加わることとなった。開設時点での定年を超える専任教員の割合は18.7%である。	教員組織の編成方針として、まずは教員の教育経験や研究業績、実務経験を重視することで教育内容の質向上に努めつつ、継続的な学士課程教育を行う観点から、30～40代の若年教員を採用していくことで、教員組織の年齢構成の適正化を図っていく計画である。
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和4年)	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営学部 経営学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
1) 収容定員変更	経営学部経営学科の収容定員を440人から740人へ変更した (R3)

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

高等教育研究開発センターの下に、教育開発部門と初年次教育部門が設置されている。各部門にはそれぞれ委員会が設置されており、そこで協議しつつ、教員の資質の維持向上のために取り組んでいる。また、FD及びSD活動はPDとして、教員の資質向上については教育開発委員会が、職員の資質向上については人財育成課が中心となり進めている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・ 定例委員会を原則として毎月1回開催し、必要に応じて臨時委員会を開催している。

c 委員会の審議事項等

- ・ 学位授与の方針及び教育課程編成の方針に基づいた教育の実施に際して必要な教育方法及び評価方法の開発と普及に関する事項
- ・ 授業のアンケートに関する事項
- ・ シラバスに関する事項
- ・ ルーブリックに関する事項
- ・ PD（FD及びSD）に関する事項
- ・ 卒業研究登録資格認定試験に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

オンラインでも「学生が学べる」環境を整える

2021年4月にスタートした3キャンパス新体制において、改めて①全学部・学科が本学の教育の特色（「組織的な教育」「重層構造の学生サポートの仕組み」「学修成果の可視化」「アドバイザーとの面談や『ふりかえり』による個別指導・支援」など）を共有することを目指す、また、②コロナ禍の下でも、これらの教育システムに基づいた教育活動が遂行できるように各学科における課題と対応方策を見出すことを目指す。

b 実施方法

- ・ワークショップ、内部教員及び外部講師による研修等

例

- ・学生の状況に関するデータ共有と分析
- ・オンライン・対面での ICT ツールの活用方法／グループワーク手法に関するワーク
- ・特別講演 「まなぶとはたらくをつなぐこと ～キャリア教育の実践から～」 深澤晶久 実践女子大学 学長補佐・教授
- ・講演 「教育DX と『未来の教室』の姿を考える」 浅野大介 経済産業省サービス政策課長・教育産業室長

c 開催状況（教員の参加状況含む）

第1回PD 8月19日・20日

第2回PD 9月16日

第3回PD 2月17日・18日

全てのPDで全教員の90%以上の参加があった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

神戸山手大学と合併し、3キャンパス体制となり、コロナ対応も含めて、本学の教育実施体制に対する課題について、学部・学科・教員間での共有は図られたと考えている。また、コロナ禍において進展した遠隔授業の方法を用いて、より本学の教育活動を展開する方法等についても共有することができた。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・各学期ごとに中間および期末の授業評価を実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・授業評価アンケートは、結果を集計・分析し、教授会での報告と併せて学内ネットワークで教員や学生に公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨に基づき、専門知と経験知の往還により実際の現場で必要となる能力の習得を行うため、教室外学修機会の充実、アクティブラーニングの教育方法を取り入れることを推進している。学生募集及び退学率については、学科設置時より留意し、更なる教育内容の充実や学生募集活動により安定した学科運営を目指していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・ 令和4年7月1日 公表

b 公表方法

- ・ 自己点検・評価報告書を刊行
- ・ 大学ホームページ上に公開予定（令和3年7月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 今年年度に評価機関（財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定としている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

関西国際大学高等教育研究開発センター規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、学校法人濱名山手学院組織規程第3条第1項第1号に規定する関西国際大学高等教育研究開発センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し、必要な事項を定める。

(目 的)

第2条 センターは、関西国際大学（以下「本学」という。）の教育・研究の改善に関する事項を取り扱い、もって本学の教育の発展・向上に資することを目的とする。

(所掌業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 教育改善に関する事項
- (2) 研究等の支援に関する事項
- (3) PD (Professional Development) に関する事項
- (4) 関西国際大学研究紀要に関する事項
- (5) 初年次教育に関する事項
- (6) メディア教育に関する事項
- (7) 教育改革委員会の運営支援に関する事項
- (8) 初年次教育委員会の運営支援に関する事項
- (9) メディア教育委員会の運営支援に関する事項
- (10) その他前条の目的を達成するために学長が必要と認めた事項

(部 門)

第4条 センターに、次に掲げる部門を置き、部門長が業務を掌理する。

- (1) 教育開発部門
 - (2) 初年次教育部門
- 2 教育開発部門は、前条第1号、第3号、第6号及び第8号に掲げる業務を行う。
- 3 初年次教育部門は、前条第5号、第7号及び第8号に掲げる業務を行う。
- (3) メディア教育部門
- 2 教育開発部門は、前条第1号、第3号、第7号及び第10号に掲げる業務を行う。
- 3 初年次教育部門は、前条第5号、第8号及び第10号に掲げる業務を行う。
- 4 メディア教育部門は、前条第6号、第9号及び第10号に掲げる業務を行う。

(組 織)

第5条 センター長、センター長代理、教育開発部門長、初年次教育部門長及びメディア

教育部門長には、学長が任命する教育職員をもってあてる。

(事務局)

第6条 センターに関する事務は、教務課がこれを所掌する。

(改 廃)

第7条 この規程の改廃は、大学協議会の議を経て学長が決定し、これを行うものとする。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2020（令和2）年4月2日から施行する。

関西国際大学初年次教育委員会規程

第1条 この規程は、関西国際大学学則第50条の2の規定に基づき、関西国際大学（以下「本学」という。）初年次教育委員会（以下「本委員会」という。）の組織及び運営、その他必要な事項について定める。

第2条 本委員会は、次の事項について審議する。

- (1) 本学初年次教育の内容に関する事項
- (2) 本学初年次教育の教育方法・教材開発に関する事項
- (3) 本学初年次教育のコーディネート・調整に関する事項
- (4) 初年次教育の研修内容・方法・研究成果の情報収集に関する事項
- (5) 本学における専門教育と初年次教育に関する事項
- (6) その他学長の諮問事項及び初年次教育に関する事項

第3条 本委員会は、学長が指名する専任職員をもって構成する。

- 2 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
- 3 委員の定数については学長が定める。

第4条 本委員会に、委員長をおく。

- 2 委員長は、学長が指名する。
- 3 委員長は、本委員会を招集し、その議長をつとめる。
- 4 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名を受けた委員が代行するものとする。
- 5 委員長は、必要に応じて委員以外の職員に出席を要請し、意見を求めることができる。

第5条 本委員会の円滑な運営のため、各キャンパス毎に部会を置く。

- 2 部会に副委員長を置くことができる。
- 3 副委員長は、本委員会委員のうちから当該キャンパスの教育職員をあてるものとする。
- 4 部会は、第2条の審議事項のうち本委員会の委嘱を受けた事項を審議する。

第6条 本委員会に関する事務は、教務課がこれを所掌する。

第7条 この規程の改廃は、大学協議会の議を経て学長が決定し、これを行うものとする。

附 則

この規程は、平成17年5月25日から施行する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。